

南朝正平十三年 北朝廷文三年四月三十日

八四〇

返し

前大納言爲定

和歌れ浦のなみよ思はぬ心よりそふへき玉のひるりをそみる

〔倭歌作者部類〕

大臣

等持院贈左

〔大臣〕尊氏、贈從三位貞氏子、三

續後拾遺集一、五位

風雅集十六、前大納言、

新千載集廿一、等持院贈左大臣、

〔續倭歌作者部類〕

大臣

源尊氏等持院贈左大臣

新拾、十七首

新後拾、十八首

新

續、十三首

〔等持院殿御集〕

春歌

立春風

春ははや立ける浪の岩小菅それもなひきて川風そふく八〇以下

首略

〔等持院殿御集〕

夏歌

朝更衣

袖にこそまつかへてけれ夏きてもまた音にたてぬ蟬の羽衣四〇以下

首略

〔等持院殿御集〕

秋歌

立秋朝

さそふらん一葉も見えす朝またき木蔭にとをる秋のはつ風百〇以下

八首略